

令和元年度 第1回 東区地域公共交通検討会議 会議概要

1. 開催日時

令和元年12月2日（月）午前10時～11時

2. 会場

東区役所 会議室A

3. 出席者（敬称略）

【構成員】

東区自治協議会 第3部会長 國兼 忠男
東区自治協議会 第3部会副部会長 菊谷 きぬ子
東区自治協議会 第3部会員 大江 謙作
国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 運輸企画専門官 塩原 隆太郎
新潟東警察署交通課 交通管理係長 小川 祐也
新潟交通株式会社乗合バス部企画調整課 係長 坂井 拓磨
新潟交通株式会社乗合バス部企画調整課 稲家 雄太
新潟交通観光バス株式会社 乗合バス課長 松田 英憲
新潟市ハイヤー・タクシー協会 専務理事 佐々木 紀彦
都市政策部都市交通政策課 課長補佐 丸田 喜之（代理出席）
東区役所地域課 課長 江戸 誠一
東区役所建設課 課長 伊藤 芳文

【事務局】

東区役所地域課職員 3名

【傍聴者】

なし

4. 会議概要

1 開会

○本会議の位置づけ等について、事務局より説明。

2 議事

（1）東区生活交通改善プランの改定について【資料1】

○計画の位置づけ等について、事務局より資料に基づき説明。
○にいがた都市交通戦略プランについて、事務局より資料に基づき説明。
○改定に向けたスケジュールについて、事務局より資料に基づき説明。

（2）東区生活交通改善プランの改定案について【資料2-1、2-2】

○計画期間について、事務局より資料に基づき説明。
○改定のポイントについて、事務局より資料に基づき説明。
○改定の主な内容について、事務局より資料に基づき説明。

【主な意見・質問】

○東区の具体的な交通施策の「区バスの運行」の指標について、目標数値を達成するためにどのようなことを実施していくのか。

⇒小型ノンステップバス車両の導入のほか、運行に関する情報の提供や、地域と協働したPR活動を実施することで利用促進を図っていきます。

○新潟市が自家用車の分担率が高いことは以前から問題視されているが、公共交通の分担率は増えていない。意識を変えることだけで、公共交通に移動方法を転換していくのは難しいのではないか。

⇒市民意識調査では多くの区民に公共交通を利用する意向があるため、意識の転換は進んでいると考えています。ハード整備は効果が高いと思うものの、区として取り組めることは、現行制度の周知等であると考えています。

○次期プランに掲載されている取り組み以外も事業は実施していくのか。

⇒計画期間内の主な取り組みを掲載しているものです。必要に応じて、掲載事業以外にも取り組んでいきます。

○様々なところでデマンド交通への要望が高まってきている。デマンド交通の運行への要望があった場合に対応できるよう、計画に含めることはできないか。

⇒デマンド交通の運行は、市全体として社会実験を行いながら制度の制定を目指しているところです。東区としての取り組みについては、社会実験の状況を確認しながら検討していきます。

(3) 東区自治協議会委員からの意見について【資料3】

○東区自治協議会の会議での意見について、事務局より資料に基づき報告。

3 その他

なし

4 閉会